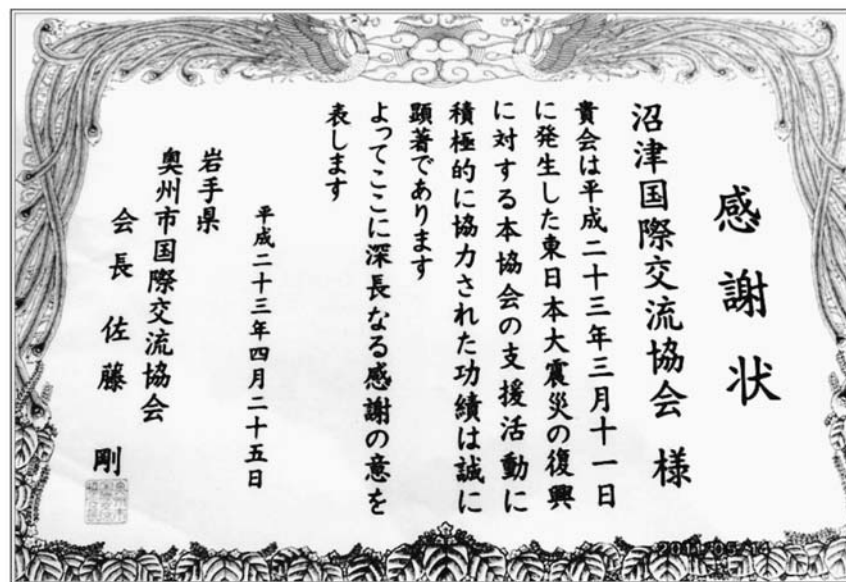


# NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.78

発行日 2011年6月30日  
発行者 NICE 沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所市民協働課内  
☎055-934-4717  
Fax055-934-2582



## 五部会の団結で

## 平成23年度 沼津国際交流協会総会

平成23年度沼津国際交流協会（NICE）総会が5月14日(土)午後3時より沼津市民文化センター大会議室にて開催されました。開会に先立ち3月11日(金)午後2時46分未曾有の大地震に東日本が襲われ3万人近い犠牲者に対して黙祷が捧げられました。



最初に沼津国際交流協会安田政義会長より挨拶、続いて大勢の来賓を代表され鈴木好晴副市長よりご祝辞を頂きました。その中で市内には4千人もの外国人が生活している現状が報告され、特にゴミの分別、災害時の対応等に対しての手段と合わせて異文化の理解と交流の重要性について話されました。また、2013年には沼津市とカラマズー市との姉妹都市提携50周年を迎えます。当協会への期待にも触れられました。



続いて議事に移り協会規約により安田政義会長が議長を務め、式次第に基づき平成22年度事

業報告、小野義雄事務局長より会計報告、松井泰樹監事より会計監査報告、平成23年度事業計画案、収支予算案の提案が承認され滞りなく議事は進行了しました。

最後に活発な質疑応答があり、会員をどう増やしていくのか等が話し合われました。今年度も更に交流の輪が広がる様がんばりましょう。多数の参加ご苦勞様でした。

### 岩手県奥州市国際交流協会被災者支援

当協会としては被災地の支援に総会会場に募金箱を用意し義援金を呼びかけました。協力していただいた義援金は会長と繋がりのある奥州市の国際交流協会に贈られ、現地の活動資金として活用して頂く事になりました。尚協会員の山由水産 山田昌彦社長のご尽力で他5社にも提供して頂き4月には1,400枚、5月にも1,800枚のアジの干物が支援物資として送られ、大変よろこばれました。それに対し奥州市国際交流協会佐藤剛会長より当協会及び、各水産加工会社に感謝状が届けられ、総会の席で安田会長より6社を代表して山田社長に贈呈されました。



山田社長からは余りの反響の大きさにびっくりしましたとの挨拶がありました。

#### 被災地支援物資協力会社(6社)

有限会社 山由水産  
 有限会社 カネセイ水産  
 マルコウ魚利商店  
 沼津海産協組  
 菊健水産  
 マルサン川千代水産

多大なる協力に感謝申し上げます。

**カラマズー部会**
**カラマズー市への短期留学生決定**

今年度短期留学生は、市内在住の高校3年生に決定し8月1日から8月15日の15日間派遣することになりました。

**「カラマズー短期派遣の抱負」**

私がカラマズーへ行きたいと思ったきっかけは、英語力を身につけ、外国の文化に触れたいことです。高校生でのホームステイや留学は、人生にとってとても良い経験になると考えていました。そんな時に沼津国際交流協会の募集を見て応募しました。

私に決まってから、準備していることが2つあります。1つ目はホストファミリーに沼津市や静岡県、日本を紹介するために歴史や観光などを調べています。18年間沼津市に住んでいますが自分の住んでいる所についてあまりにも知らないことがあったと気付きました。調べていくうちに素敵な所だと気づき、出発までできる限りたくさんの方に自分で足を運び、写真などを撮ってこの良さについて精一杯伝えてきたいと思っています。

2つ目は、会話英語の勉強です、今まで私が学んだ英語は、単語や文法、長文読解などでしたが、カラマズーで生活するためには英語の読み書きだけでなく、発音や英語独特な言い回し、YESとNOの使い方などが必要だと考え新たに勉強しています。カラマズーではそれらの成果を活かし積極的に会話をして、文化や習慣の違いを学びたいと思っています。衝撃を受けることもあると思いますが、広い世界を体験できることを楽しみにしています。

2週間、不安もたくさんありますが、普段当たり前に思っていたことや沼津市や日本を見つめ直し、これからの自分への貴重なチャンスを頂いたことに感謝し、毎日チャレンジをしながらカラマズーでの生活を送りたいと思います。

平成23年度カラマズー短期派遣留学生

末安 千夏

この度の東日本大震災復興のため、カラマズー姉妹都市協会の方々から沼津市へ義援金(5,000ドル)をお送りいただきましたことを皆様に報告させていただきます。

**国際理解教育部会**
**『日本語を語る会』**

5月28日(土)、沼津市立図書館において「日本語を語る会」日本語ボランティア勉強会が行われました。部会員24名と近隣の国際交流に関わる5名の計29名が参加しました。



内容は、森田陽子先生による「連体修飾を使った人・物の描写」の講義で、テキスト「みんなの日本語」22課についてでした。私たちは、あらかじめ付けておいた外国人の名前を呼び合いながら、連体修飾文の会話を練習しました。

毎週土曜日の午後、市内・近隣にお住まいの外国の方々が、図書館で日本語を学んでいます。その方たちに少しでもお手伝いできればと、部会では毎年このような勉強会を開いています。前年度は、計画された日が震災後で見送りとなりましたので、今年度早々に、「日本語を語る会」が行われる午前中を利用しての勉強会となりました。



先生のおっしゃった「テキストを教えるではなく、テキストで教える」を念頭に置き、より具体的・立体的な学習を心がけていきたいと思っています。

## 岳陽部会

### 岳陽部会だより

3月11日に発生した東日本大地震・大津波・原発事故で被災された東北・北関東の方々には心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の災害による計画停電等の影響をうけ、計画をしていた中国語講座・前期太極拳教室を急遽中止いたしました。後期の事業は計画どおり実施いたしますのでよろしくお願いいたします。

#### 友好都市 岳陽市の紹介



洞庭湖大橋

洞庭湖大橋

岳陽市は、高速道路の整備・新幹線の開通・新港の建設と、内陸部の経済発展に不可欠の物流拠点形成しつつあり、大変発展しています。



岳陽楼

岳陽楼の中に飾られている岳陽楼記の一節「先天下之憂而憂・後天下之樂而樂」が日本の四文字熟語「先憂後樂」の基になっています。

憂国の詩人「屈原」を祀っているのが屈子祠です。国を憂い屈原が汨羅江へ身を投げた日が端午節となっ



屈子祠

て、日本では5月5日の子供の日となっています。岳陽市は、この様に日本とは深い関係があります。市民訪問団等の機会がありましたら是非参加をお願いします。

岳陽市は、高速道路の整備・新幹線の開通・新港の建設と、内陸部の経済

一方では、岳陽楼・君山・屈子祠・張谷英村など歴史的な建造物や遺跡なども数多くあります。

## ふれあい部会

### ふれあい部会だより

今年度ふれあい部会では、例年と同じく「国際交流フェア」を11月に、「国際スポーツ交流会」を3月に開催を予定しています。

今年の国際交流フェアはサンウェルぬまづで開催することになりました。今まで開催していた学習院游泳場は、とても趣がある建物で、部屋も各ブースに分けやすい等の利点がありましたが、各種備品を運び込むのに大変な時間と労力を要していたため、今年は設備の整っているサンウェルぬまづを使用することにしました。今までと異なる会場ということで、使い勝手や会場レイアウト等も例年とは違った形になるかと思っておりますので、部会では現在その実施方法について検討中です。

#### “新生”国際交流フェアをお楽しみに！



そして、もう1つの事業である「国際スポーツ交流会」での前年度の課題は広報と外国人の参加者を増やすことでしたが、外国人を対象とした相談会と日程が重なってしまったこともあり、外国人の参加者は数名でした。今年度は他の行事を勘案して日程を決定したいと思います。

また、広報も今までと違った新たな方法を検討し実施していく必要があります。

チラシ、広報ぬまづ、日本語を語る会でのPRは行っておりますが、会員の皆様におかれましても、日頃から外国の方と接する機会がありましたら、沼津国際交流協会の事業のPRを積極的にお願いできれば幸いです。また、PRできそうな場があれば是非ご紹介ください。

今年度も、この2つの事業に会員の皆様のお知恵とお力を拝借したいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。